

令和5年度 府立学校首席研修 実施要項

- 1 目的 教職員のリーダーとして組織を円滑に機能させるため、首席としての資質と専門性の向上を図る。
- 2 対象 府立学校の首席
- 3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	オンデマンド開催 6月30日(金) ～ 7月13日(木) 提出締切:7月27日(木)	大阪府の教育の現状と課題について 人権教育の推進 「ともに学び、ともに育つ」教育の推進 ハラスメントの防止 〔講義〕	大阪府教育センター 指導主事等 大阪府教育庁 指導主事等
	オンデマンド開催 7月21日(金) ～ 8月3日(木) 提出締切:8月24日(木)	A 学校組織マネジメント －ミドルリーダーとしての役割－ 〔講義・演習〕	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 特任教授 浅野 良一
2 (選択)	10月20日(金) 14:00～17:00	B 令和の日本型学校教育における「チームとしての学校」組織体制の実現 －求められるミドルリーダーの役割－ 〔講義・演習〕	大阪教育大学大学院 連合教職実践研究科 特任教授 陸奥田 維彦
	オンデマンド開催 11月17日(金) ～ 11月30日(木) 提出締切:12月14日(木)	C カリキュラム・マネジメント －授業改善をすすめるために－ 〔講義・実践発表〕	京都大学大学院 教育学研究科 准教授 石井 英真 府立学校首席等
	オンデマンド開催 9月8日(金) ～ 9月21日(木) 提出締切:10月5日(木)	D 学校における危機管理 －学校安全の観点から－ 学校におけるメンタルヘルス －教職員からの相談対応・支援のために－ 〔講義・演習・実践発表〕	大阪府教育庁 指導主事等 臨床心理士等

※第2回は、A～Dのうち1コースを選択します。第1回、第2回A、Bコースは、「府立学校リーダー養成研修」との共通研修です。

※選択希望については、別途調査します。

4 会場 第1回、第2回 A、C、Dコース 所属校等

第2回 Bコース

大阪府立難波支援学校・なにわ高等支援学校（大阪市浪速区木津川2丁目3番30号）

J R環状線「芦原橋」駅下車、西へ約600m 南海汐見橋線「芦原町」駅下車、西へ約200m
--

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来校時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は校内に駐車できません。
 - (4) オンデマンド開催の場合、研修対応ポータルサイト内の各研修の個別ページに掲載する実施マニュアルを参照すること。

6 担当室 学校経営研究室

令和5年度 府立学校首席研修 シラバス

1440

1 目的

教職員のリーダーとして組織を円滑に機能させるため、首席としての資質と専門性の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

スクールリーダースタンダード						
	1	2	3	4	5	6
第4期（校長）						
第3期（教頭）						
第2期（首席・指導教諭）	○	○	○	○		
第1期（リーダー養成期）						

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府の教育の現状と課題について	大阪府の教育の現状と課題について認識を深め、ミドルリーダーとして取り組むべき学校運営に生かす。	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府の教育の現状と課題について認識し、理解を深めるための講義を行う。 今年度重点とする施策を再確認し、ミドルリーダーとして学校運営に生かすための講義を行う。 	
	人権教育の推進	府が推進する人権教育の現状と課題について認識を深めるとともに、人権が尊重された学校づくりについて意識を高める。	大阪府における人権教育の現状と課題について講義を行う。	
	「ともに学び、ともに育つ」教育の推進	障がいのある子どもを含めたすべての子どもを大切にしたい「ともに学び、ともに育つ」教育について認識を深める。	「ともに学び、ともに育つ」教育を推進していく学校づくりについて講義を行う。	
	ハラスメントの防止	ハラスメントの防止について必要な知識や対応方法等を理解する。	ハラスメントの防止について理解を深めるため、具体的な事例を基に講義を行う。	

2 (選択)	A 学校組織マネジメント —ミドルリーダーとしての役割—	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして組織を牽引するために効果的なマネジメントの方法について理解を深める。 ・学校組織をイメージし、ミドルリーダーとしての役割について考察することで、自校の業務改善に生かす。 	リーダーとして組織を牽引する能力を向上させるため、学校組織マネジメントの実例を踏まえた実践的な内容について講義・演習を行う。		
	B 令和の日本型学校教育における「チームとしての学校」組織体制の実現 —求められるミドルリーダーの役割—	学校のマネジメント機能が強化された組織運営体制の充実は急務である。「チームとしての学校」実現に期待が高まるミドルリーダーの役割やリーダーシップについて認識を深める。	複雑化、多様化している学校課題解決にむけて、教員や専門スタッフ等の多職種で組織される学校がチームとして機能するためのミドルリーダーの役割、リーダーシップ及びマネジメントの在り方について講義・演習を行う。		
	C カリキュラム・マネジメント —授業改善をすすめるために—	「カリキュラム・マネジメント」を確立するための要点や実践について学び、自校における授業改善の取組みに生かす。	学習指導要領の重要なポイントの一つである「カリキュラム・マネジメント」の確立に向けた講義・実践発表を行う。		
	D	学校における危機管理 —学校安全の観点から—	学校における危機管理の観点から学校安全に関する講義・実践発表を通して、学校全体の指導體制を充実させるための「安全・安心」な学校づくりの推進について理解を深める。	学校の危機管理の観点を踏まえ「子どもたちが安全・安心に暮らせる学校づくり」の体制づくりについて講義・実践発表を行う。	
		学校におけるメンタルヘルス —教職員からの相談対応・支援のために—	「学校におけるメンタルヘルス」について認識を深める。	教職員からの相談対応・支援の在り方や考え方について、具体的な事例を踏まえた講義・演習を行う。	